

広報よっかいちデザイン制作業務 特集デザインについて

次に掲げる特集（4ページ分）について、デザイン・レイアウトなどを行ってください。

※写真データの提供について

写真データを別途お渡しします。提供するすべての写真データを使用する必要はありません。

必要に応じて、他の写真、イラストの使用も可とします。

提供する写真データは、本件以外での使用は禁じます。

※紙面には関係者インタビューを2箇所挿入してください。

利用者写真、コメント分量等の指定はありません。

特集 防災教育センターリニューアル

【ねらい】

北消防署に併設する防災教育センターを令和6年5月にリニューアルオープンする。市民が災害を身近に感じることができ、実践的な対応を学ぶことができる機材を導入した施設となっていることを紹介し、リアルな災害体験ができる施設の紹介を通して、市民の防災意識の向上を図る。

なお、テーマについて内容を絞って深く紹介し、施設、施策の羅列ではなく、「読み物」として興味や関心を持っていただける記事とする。

【タイトル】

防災教育センターリニューアル！

【リード文】

VRなどの最新技術を活用したリアルな災害体験を通じて、市民に対してより効果的な防災教育を展開できるように、北消防署に併設する防災教育センターの改修を実施する。併せて、出張型防災教育を実施するため、地震体験車を1台導入する。

【見出し】

体験型防災教育

四日市市マッピングセンター、災害連鎖シアター、煙体験などのコンテンツを駆使して、訪れた市民が災害をリアルに感じることができる体験型の防災教育を各ゾーンで提供します。

（1）四日市市防災情報ゾーン

●四日市市マッピングシアター

床面地図に「震度予測分布図」「津波浸水予測図」「河川浸水想定図」「土砂災害情報」などのハザード情報を投影します。

(2) 災害体験ゾーン

●災害連鎖シアター

巨大地震をきっかけに次々と連鎖する災害の恐ろしさをシアターで紹介します。臨場感のある演出で災害の恐ろしさを体験できます。

●煙体験

煙が充満する部屋からの避難を体験できます。臨場感のある演出で火災の恐ろしさも体験できます。

●地震VR・防災シアター

ヘッドマウントディスプレイ（VR）を使用した地震体験等をできます。

(3) 備えゾーン

●学習スペース・防災学習ライブラリー

防災に関する学習スペースを設けています。

●非常用持ち出し袋

それぞれの家族に合わせた非常用持ち出し袋の中身を考え、実際にその重さのリュックを背負ってみる体験学習ができます。

【見出し】

出張型防災教育

防災教育センターのリニューアルを契機に、県下の市町で初の保有となる地震体験車を導入します。これまで以上に積極的に地域へ出向いた出張型の防災教育を展開していきます。地震体験に併せて、初期消火訓練（水・VRを活用）、応急手当、心肺蘇生など総合的な訓練指導を実施していきます。

●地震体験車

地震体験車の主な特徴

- (1) 震度2～7まで地震体験が可能
- (2) 大規模地震（東北地方太平洋沖地震等）の再現体験が可能
- (3) VR映像によるリアルな地震体験が可能
- (4) VR映像と連動した訓練用消火器を積載
- (5) 外国語での音声案内が可能

(6) 災害時は電力を外部に供給可能

●小中学生向け防火防災教室

四日市消防本部管内の小中学生を対象として、防火防災教教室を随時実施し、災害に強い人づくりに取り組んでいきます。

※防災教育センターについて

防災教育センター（北消防署併設） ☎365-3119

時 9:00～16:30 月曜日、祝日、年末年始休館（月曜日が祝日の場合は火曜日も休館）

所 富田2丁目4-15

参考：

<https://www.city.yokkaichi.lg.jp/www/contents/1001000000530/simple/2023siryou04.pdf>

防災教育センターリニューアル事業費

1. 目的
北消防署に併設する防災教育センターを市民が災害を身近に感じることができ、実践的な対応を学ぶことができる機材を導入して施設を改修するとともに、地震体験車を導入し、リアルな災害体験を通じて防災意識の向上を図る。

2. 内容
【拡充】四日市市マッピングシアター、災害連鎖シアター、煙体験などのコンテンツを駆使して、市民等が災害をリアルに感じることができる体験型施設として改修を行うとともに、出張型の防災教育拠点として地震体験車を導入する。

＜主な内容＞

【四日市市マッピングシアター】 	【災害連鎖シアター】 
【煙体験】 	【地震体験車】 

今後のスケジュール

令和5年度	令和6年度
施設改修、機材導入等	リニューアルオープン（5月予定）

3. 予算額 218,870千円 (前年度 15,100千円)

(財源内訳) 市 債 149,400千円
その他特財 6,400千円
(朝日、川越二町消防事務委託費)
一般財源 63,070千円

担当 消防本部 消防救急課
畑
TEL 356-2005

202